

リニアは夢の乗り物か？

ストップリニアニュース No.40

発行：2017.5.25 リニア新幹線を考える相模原連絡会 <http://sagamihara-g.mond.jp/>

リニア新幹線の学習会に多数の参加

区分地上権や名古屋市でのリニア駅建設工事などお話がありました

5月14日、リニア新幹線の学習会がソレイユさがみで行われました。樽井直樹弁護士（名古屋法律事務所、リニア訴訟弁護団）が「リニアのトンネル真上に暮らすとは」という題で講演、高橋政行さん（藤野地区：造形作家）が、鳥屋の山林トラストの取り組みについてお話ししました。

自然を破壊するリニア計画に疑問を持ち今年から山林トラスト運動にも参加している者ですが、今回ソレイユさがみで行われたリニア新幹線 学習会にも参加させていただきました。

登山が趣味で自然が好きな私は水枯れや、景観や騒音などの問題からリニア計画に疑問を抱いていたのですが、今回弁護士 樽井直樹さんの話を聞いて都市部でも様々な問題を抱えていることと、リニアが通る地域住民への説明が全くされていないまま強引に計画を進めようとしているJR東海の対応の問題点を改めて認識することが出来ました。

会場ではリニアの路線が自宅を通る可能性の高い当事者の方や現職の地方議員の方などが積極的に発言をしており実りのある勉強会になりました。

今後も地道にリニアが通る各地域での意見交換を続けることが大切だと感じました。またこういった場があれば参加したいとおもいます。

山林トラスト運動に参加している若者



お話をする樽井直樹弁護士



山林トラストを説明する高橋政行さん

小中学校の教育環境を守れ！ 公開質問状を提出しました

加山市長、野村教育長あてに「リニア事業関連建設工事にかかわる近隣小中学校児童生徒の教育環境、安全性保障についての公開質問状」を5月10日提出しました。

一つは、橋本の国道16号添いの工事現場、ヤード周辺の通学、放課後など生活全般にかかわる振動・騒音・大気汚染などや、大型工事車両の通行による身体的、精神的被害。

二つは、関東車両基地建設予定地に隣接する鳥屋小中学校における子供たちの通学、放課後など生活全般にかかわる振動・騒音・大気汚染などや、大型工事車両の通行による身体的、精神的被害の問題、ことに電磁波問題をどう認識し、対策を図るのかを問い、文書回答と説明の場を求めました。

学校教育課職員と笹野教育局長も同席し、回答を約束しました。

お願い

★ 活動はみなさまのカンパで維持しています、ぜひご協力をお願いします。
郵便振替口座：00240-7-71305 口座名：リニア新幹線を考える相模原連絡会

発行者：代表 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本 2-6-2 携帯 090-4378-9257

車両基地建設予定地の鳥屋でミニパーティー

リニアの替え歌”鳥屋の未来”を歌い始めると、みんな思わず笑った。大きな声で森のくまさんを歌った。ロス・アルパカスの歌と演奏はゆかいで小雨の下ではあったが、みな踊り出してしまった。

のどかな草原にいるような気分だ。

ランチは手作り、どれも美味しい。生ビールを横目に、井戸水で入れたコーヒーを飲む。

みんなとの交流で小島さんは「移転はしない」と力の入った声で言った。感動した。自然破壊や地域の人のごとも考えないJR東海。このステキな園庭に、鳥屋にはリニア車両基地はいらない。

緑区 末永 順子

4月8日、小島さんの広い庭園でイベントは行われました。約50人が参加しました。



演奏するロス・アルパカスの皆さん

STOP・リニア！訴訟第4回口頭弁論 — どういった内容を認可したか国は説明を求められる —



マイクで訴える参加者の皆さん

今回は裁判長が被告・国側の弁護士に「どういう内容を認可したのか明らかにして」と促しました。国側は「答えられるかどうか検討する」とびっくり答弁。

国交省が認可した申請内容は公文書じゃないんですか？ 傍聴席からは「森友か」の声。加計学園みたいに申請書2枚だけだったりして？ 未だにルートや施設、残土処理等、計画自体不明、あまりにひどいです。ご都合主義の国策 or 民営使い分け事業反対！

吉田加代子

次回の口頭弁論は6月23日(金)14:30～ 東京地方裁判所大法廷 103号 13:15 裁判所前集会 14:00～傍聴券抽選 (大鹿村の陳述予定)

STOP・リニア！訴訟一周年記念 講演会&シンポジウム

6月23日(金) 午後4時～6時半
衆議院第一議員会館大会議室 (資料代500円)

第一部：基調講演 斎藤貴男氏「暴走するリニア新幹線」

第二部：シンポジウム

「真実を隠してリニアを進める闇に迫る」



斎藤貴男さん